

社会資本總合整備計画
事後評価書

令和03年03月31日

栃木県住環境整備計画（第二期）																	
計画の名称	栃木県住環境整備計画（第二期）																
計画の期間	平成27年度	～	平成31年度	（5年間）													
交付対象	小山市、大田原市、日光市、那須塩原市、宇都宮市、栃木市、佐野市、鹿沼市、真岡市、上三川町、益子町、茂木町、栃木県																
計画の目標	本県及び県内市町では、地域の特性に応じた街づくりを推進する。中心市街地では不燃化を高めた防災上安全な街づくりを行うとともに、街なか居住の増加を図る。また、住宅密集地や良好な美観を有していないこと等により住環境の整備改善を必要とする区域では、狭あい道路の拡幅整備や修景改修を進め、ゆとりとろうのおいのある街づくりを推進するなど、県と市町が連携し建築物を軸とした住環境の向上を目指す。																
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	3,689		A	3,689		B	0		C	0		D	0		効果促進事業費の割合C／（A+B+C+D）	%

計画の成果目標（定量的指標）													
番号	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値											
		当初現況値		中間目標値		最終目標値							
		(H27当初)	(H29末)	(H29末)	(H31末)								
1	小山市中心市街地の世帯数を4,813戸から5,000戸に増加 小山市中心市街地の住宅戸数（世帯数）	4813戸	戸			5000戸							
2	日光東町地区及び日光西町地区における日光市景観条例に準拠した建築物の割合を21%から33%に増加 日光市景観条例に準拠した建築物の割合（条例に準拠した建築物の数）／（国道119号及び国道120号他に面する建築物の数）	21%	%			33%							
3	JR黒磯駅周辺地区における街なみや風景に関する満足度調査で、魅力的であるとの回答率を8%から35%に増加 JR黒磯駅周辺地区における街なみや風景に関する満足度（満足度）＝（魅力的であるとの回答）／（回答数）	8%	%			35%							
4	狭あい道路を17,700m拡幅整備する（確認申請等に係るセツトバック部分（4m以上の整備が完了していない部分）を含む） 狭あい道路の拡幅整備距離	0m	m			17700m							
備考等		個別施設計画を含む	—	国土強靱化を含む	—	定住自立圏を含む	—	連携中核都市圏を含む	—	流域水循環計画を含む	—	地域再生計画を含む	—

A 基幹事業

基幹事業（六）	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名／ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況													
		一体的に実施することにより期待される効果	一般	小山市	間接	組合	－	－	城山町二丁目第一地区市 街地再開発事業	敷地の共同化	小山市	H27	H28	H29	H30	H31	1,331		－													
												住宅	一般	小山市	間接	民間				－	－	駅東通り一丁目第一地区 優良建築物等整備事業	施設整備	小山市	■	■	■	■	■	1,083		－

A 基幹事業

基幹事業（大）	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名／ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果	一般	日光市	間接	個人	—	—	日光西町地区街なみ環境整備事業	修景助成等	日光市	H27	H28	H29	H30	H31	3	—	—
住環境整備事業	A16-007	住宅	一般	日光市	間接	個人	—	—	日光西町地区街なみ環境整備事業	修景助成等	日光市		■	■	■	■	3	—	—
	A16-008	住宅	一般	那須塩原市	直接	個人	—	—	黒磯本通り周辺地区街なみ環境整備事業	街路灯整備等	那須塩原市	■	■	■	■	■	61	—	—
	A16-009	住宅	一般	那須塩原市	間接	個人	—	—	黒磯本通り周辺地区街なみ環境整備事業	修景助成等	那須塩原市	■	■	■	■	■	34	—	—
	A16-010	住宅	一般	宇都宮市	直接	宇都宮市	—	—	狭あい道路整備等促進事業	道路拡幅整備	宇都宮市	■	■	■	■	■	73	—	—
	A16-011	住宅	一般	栃木市	直接	栃木市	—	—	狭あい道路整備等促進事業	道路情報整備	栃木市					■	10	—	—
	A16-012	住宅	一般	栃木市	間接	個人	—	—	狭あい道路整備等促進事業	分筆登記費助成	栃木市					■	6	—	—

A 基幹事業

基幹事業（六）	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名／ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果										H27	H28	H29	H30	H31			
住環境整備事業	A16-013	住宅	一般	佐野市	直接	佐野市	—	—	狭あい道路整備等促進事業	道路拡幅整備	佐野市	■	■	■	■	■	50	—	
	A16-014	住宅	一般	佐野市	間接	個人	—	—	狭あい道路整備等促進事業	分筆登記費助成	佐野市	■	■	■	■	■	96	—	
	A16-015	住宅	一般	鹿沼市	直接	鹿沼市	—	—	狭あい道路整備等促進事業	道路情報整備、道路拡幅整備	鹿沼市	■	■	■	■	■	195	—	
	A16-016	住宅	一般	鹿沼市	間接	個人	—	—	狭あい道路整備等促進事業	分筆登記費助成	鹿沼市	■	■	■	■	■	8	—	
A16-017	住宅	一般	小山市	直接	小山市	—	—	狭あい道路整備等促進事業	道路拡幅整備	小山市		■	■	■	■	263	—		
A16-018	住宅	一般	真岡市	直接	真岡市	—	—	狭あい道路整備等促進事業	道路拡幅整備	真岡市	■	■	■	■	■	20	—		

A 基幹事業

基幹事業（大）	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名／ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況												
		一体的に実施することにより期待される効果 備考	一般	真岡市	間接	個人	—	—	狭あい道路整備等促進事業	分筆登記費助成	真岡市	H27	H28	H29	H30	H31	6	—	—												
												住宅	一般	上三川町	間接	個人				—	—	狭あい道路整備等促進事業	分筆登記費助成	上三川町	■	■	■	■	■	2	—
		住宅	一般	益子町	直接	益子町	—	—	狭あい道路整備等促進事業	道路拡幅整備	益子町	■	■	■	■	■	8	—	—												
		住宅	一般	益子町	間接	個人	—	—	狭あい道路整備等促進事業	分筆登記費助成	益子町	■	■	■	■	■	3	—	—												
		住宅	一般	茂木町	間接	個人	—	—	狭あい道路整備等促進事業	分筆登記費助成	茂木町	■	■	■	■	■	3	—	—												
		住宅	一般	栃木県	直接	栃木県	—	—	狭あい道路整備等促進事業	道路情報整備	栃木県	■	■	■	■	■	38	—	—												

A 基幹事業

基幹事業 (大)	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名／ 港湾・地区名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果	備考	H27	H28	H29	H30	H31	3,689										
											合計								

事後評価		
○事後評価の実施体制、実施時期		
事後評価の実施体制 栃木県建築課 宇都宮市建築指導課 栃木市建築課 佐野市建築指導課 鹿沼市土木課 日光市都市計画課 小山市新都市整備推進課 真岡市建設課 大田原市商工観光課 那須塩原都市整備課 上三川町建設課 益子町建設課 茂木町建設課	事後評価の実施時期	
	令和３年３月	
	公表の方法	栃木県のホームページ
○事業効果の発現状況		
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	・狭あい道路の解消を図ることができ、生活道路の利便性向上や災害時における避難経路の確保を図ることができた。 ・日光市東町地区および西町地区では、門前町を感じさせる風格の形成や回遊性の向上により、地区の魅力を向上することができた。 ・那須塩原市黒磯本通り周辺地区では、街路灯設置や建築物の修景の推進により、以前の街なみが復元されつつあるなど、地区の魅力を向上することができた。 ・小山市では再開発事業等の中心市街地整備の取り組みにより、まちなか居住の推進を図ることができた。	
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）		
○特記事項（今後の方針等）		
・引き続き県と市町で連携し、地域の特定に応じた街づくりを推進し、安全で快適な住環境を確保を図る。 ・事業の実施により、住環境整備に対する地区住民等の意識向上が図れた地区が多数存在することから、良好な住環境の形成に向けて、継続的に取り組みを実施していく。		

○目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値／実績値		目標値と実績値に差が出た要因
1	最終目標値	5000戸	城山町二丁目第一地区再開発事業は、事業計画作成業務において、権利者間の調整等により、市街地再開発組合設立に不測の時間を要したため、完了年度が平成31年度（令和元年度）から令和2年度まで延長した。駅東通り一丁目第一地区優良建築物等整備事業は、当初選定した事業施行者が工事費の高騰を理由により事業実施が困難となり、再度、事業施行者の選定に時間を要したことから、完了年度を平成31年度（令和元年度）から令和2年度まで延長した。まちなか居住推進に向けた各種取り組みにより、世帯数は増加しているものの、以上の理由により、両事業とも、整備計画期間（平成27～31年度）内での事業完了に至らず、最終実績値にその結果を反映することができなかった。
	最終実績値	4974戸	
2	最終目標値	33%	日光東町地区については、国道119号大通りの県道路拡幅事業により改築したほぼ全ての建物が条例に準拠したものとなっている。しかし、日光西町については拡幅事業の実施のない国道120号線沿線や裏通りでは、修景補助申請が挙がるようになってはいるが少数に留まった。また、西町地区は店舗では数件申請があったが、多数を占める住宅での改修が少なかったことから当初設定した目標値に届かなかった。
	最終実績値	29%	
3	最終目標値	35%	黒磯本通り沿道地区については、道路美装化工事の実施や修景補助事業による建物等改修工事の促進を行った結果として、「魅力的な街なみや風景である」との回答が増加傾向にある。一方、区域全体では、一般市街地地区等で未整備の箇所も多いことから、全体として目標値と実績値に差が生じた。
	最終実績値	22%	
4	最終目標値	17700m	用地交渉に不測の時間を要したことにより、一部の路線で事業の進捗がおくれたため。
	最終実績値	13661m	